

2 食育推進にかかる各団体の取組

団 体 名	取 組 の 概 要
愛知県小中学校長会	県内小中学校に対して、給食や食育に関する調査を実施し、それを基に学校における望ましい食に関する指導の在り方を啓発する。
愛知県小中学校PTA連絡協議会	① 引き続き日本PTA全国協議会主催による全国規模の「早寝・早起き・朝ごはん国民運動」に呼応して取り組む。 ② 平成20年度の活動方針の一つとして食育を取り上げ、PTA会員の食育に関する研修会の開催及び食育に関する情報の提供を行う。 ③ 情報交換事業のテーマの一つとして、「食育」を取り上げ、各单位PTAの実践をもとに情報交換を行う。
(財)愛知県学校給食会	① 地場産物を活用した学校給食用物資の開発・供給を行う。 ② 学校や家庭への食に関する情報の提供を行う。 【重点的な取組】 ③ 学校給食調理コンクール 学校給食における衛生的で安全な食事内容の充実と献立の多様化を図るため、学校給食関係者による調理コンクールを開催し、調理技術の研さんと意欲の高揚に資する。 ④ 学校給食教室 学校給食と食育について保護者の認識を深め、家庭との連携を図りながら、より一層の理解を得る。 ⑤ 地場産物利用物資の啓発・PR 米、小麦、大豆、れんこん等を利用した本会の地場産物の利用状況をパンフレットで紹介し、地場産物の需用拡大を図る。
愛知県栄養教諭学校栄養職員研究協議会	① 「朝食をしっかりと食べよう」を県内統一テーマにし、食に関する指導を実施する。 本協議会は「朝食をしっかりと食べよう」を県内統一テーマにし、学校・家庭・地域を対象に直接指導または間接指導を行い、朝食欠食率を小学校はゼロに、中学校は3割以下をめざす（比較：栄養教諭配置校は朝食欠食率ゼロ）。 [具体的な取り組み] ・ 食育の講話・講演会の実施 ・ 料理教室の開催 ・ 学校給食試食会の開催、教育セミナーの実施、フェスタの開催、個別指導 ・ 教科での授業・栄養指導の実施 ・ 食育だよりの発行、献立表、学校放送、ポスターの作成 ② 食文化の伝承 「地場産物」「郷土食」「行事食」「伝統食」を学校給食の献立に取り入れるだけでなく、食育だよりの料理教室等で広く家庭・

	<p>地域に紹介することで意識を高める。</p> <p>③ 実態調査 栄養教諭・学校栄養職員を対象として、衛生管理・学友連携・食事環境・食に関する指導・個別指導・食物アレルギー等さまざまな角度から実態調査を行い、問題点を把握し、問題解決に向かっての支援を行う。</p> <p>④ ホームページを活用した情報の発信</p>
愛知県国公立幼稚園長会	<p>① 各幼稚園で野菜を栽培をし、収穫した野菜を味わいながら、食に関する体験を深める。</p> <p>② 親子で栽培活動し、旬を感じたり食を通じたコミュニケーションを図ったりする。</p> <p>③ 弁当や給食を通して、バランスのとれた食生活の大切さを啓発する。</p> <p>④ ポスターセッションにおいて、食育の大切さを啓発する。</p>
(社) 愛知県医師会	<p>① 肥満、メタボリックシンドローム、生活習慣病の予防等について、県民への健康教育講座を開催する。</p> <p>② 名古屋市地域女性団体連絡協議会の会報「女性なごや」の暮らしの情報コーナーを通じた健康意識の啓発を行う。</p>
(社) 愛知県歯科医師会	<p>① 乳幼児期から高齢期まで、ライフサイクルに応じた食育について、あらゆる場と機会を通して、セルフチェックカードとレーダーチャートを活用し、口の健康を守り五感で味わえる食べ方ができる食育を推進します。</p> <p>○ レーダーチャートの構成要素（1. 歯・口の要素、2. 口腔衛生週間、3. 食生活・食機能の要素、4. 食環境の要素） 平成 20 年 5 月に久屋大通公園（名古屋市）で開催予定の「ふるさと農林水産フェア・春」にブース出展を予定しています。</p> <p>② 平成 19 年度に愛知県歯科医師会館において、愛知県栄養士会、愛知県歯科衛生士会、愛知県食生活改善推進員連絡協議会、小中学校の養護教諭、JA あいち中央会等の団体等と連携し行った「食育シンポジウム」を平成 20 年度も開催予定しています。</p> <p>③ 食生活と口腔の状態に関するテーマを決め、学術的疫学調査を行い、歯（口腔）と食育との関係について調査事業を 10 月～11 月頃行う予定です。</p> <p>④ 食育推進サポート企業団との連携を図り、食と 8020 運動の展開を検討します。</p>
(社) 愛知県薬剤師会	<p>① 店頭におけるバランスのとれた食生活実践の啓発</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 運動とバランスのとれた食事の重要性の意識付け 2 規則正しい食事の重要性の啓発 3 食事バランスガイドの普及、NR（栄養情報担当者）の配置等 <p>② 学校薬剤師による「くすりの話」</p> <p>③ 健康介護まちかど相談薬局による地域に密着した相談業務</p> <p>④ 「母と子の健康支援セミナー」の開催（予定）</p> <p>実施日：平成 20 年 6 月 12 日（木）10:00～12:30 場所：ウィルあいち</p>

	<p>内 容：講演「食育に活かそう漢方の智慧」</p> <p>⑤ 家庭介護者等要請研修企画研修への講師派遣（県内23か所予定）</p> <p>内 容：講演「高齢者が薬・健康食品と上手につきあうために」</p> <p>⑥ 「あいち県民健康祭」での啓発（予定）</p> <p>実 施 日：平成20年9月20日（土）・21日（日）</p> <p>内 容：健康食品摂取の注意点の啓発</p> <p>⑦ 食養生に関する冊子の作成・配布（配布先：会員）</p>
<p>(社) 愛知県栄養士会</p>	<p>一般県民向けに「食生活指針及び食事バランスガイド」を基本として各種の食育推進活動を展開する。</p> <p>① 「あさいち栄養相談」の実施</p> <p>実 施 日：毎月第二・第四土曜日（9時～12時） 場所：オアシス21 銀河の広場</p> <p>内 容：エコファーマーズ朝市村において「栄養相談」を実施</p> <p>② 「おやこ料理教室」の開催</p> <p>県内7会場で15～20組の親子を対象に料理教室を開催する。</p> <p>③ 「保育クッキング講座」の開催</p> <p>保育園関係者を対象に食育のためのクッキング講座を開催する（2回予定）。</p> <p>④ 「ヘルシーセミナー」の開催</p> <p>県民公開講座として話題の多いテーマで調理実習と講義をセットとして開催する（6回予定）。</p> <p>⑤ 各種の食育イベントへの参加・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種機関・企業・団体の食育関連事業やイベントに参加して食育の推進をする。 ・健保組合等の「健康づくり教室」「栄養相談」「食事バランスガイド実証事業」に参加する。 <p>⑥ その他</p> <p>食育のうた「お腹がグー」、「簡単おやつレシピ」等の普及・啓発事業を継続・展開する。</p>
<p>(財) 愛知県健康づくり振興事業団</p>	<p>① 健康づくり教室において、実習型の食生活指導を行い、好ましい食生活の実践を継続できるよう支援する。</p> <p>② 健康科学館において、タッチパネルで操作できる「栄養バランス診断」や食材データの解説等の常設展示を行うほか、団体の利用者には、事前の希望により、食事、栄養、休養等といったテーマで健康教育を実施する。</p> <p>③ あいち健康プラザのイベント開催時に、親子ヘルシークッキング教室を開催し、簡単で楽しく作ることができる健康メニューを紹介する。</p>

<p>愛知県食生活改善推進員連絡協議会</p>	<p>① 各市町村で食生活改善推進員の養成をしていただき、実践を通してさらに知識・技術・ボランティア精神をしっかりと身につけて地域で活動する。</p> <p>② 「健康日本21」の実践者、「ヘルスサポーター」を養成するヘルスサポーター21事業に取り組む。 対象者をテーマ、年代別になどにしぼり開催する。 修了後、「ヘルスサポーターの会（成人）」を設立し、ヘルスサポーターとして活躍が出来るように推進する。</p> <p>③ 各市町村協議会で「うす味習慣の定着化運動」や「子どものための食育活動」を地域のニーズに応じて実践する。</p> <p>④ 平成20年度から始まる特定保健指導に市町村食生活改善協議会として協力をする。</p> <p>【重点的な取組】</p> <p>⑤ 平成18年度に県内の50市町村協議会で、郷土料理、地域で生産された食材を用いた料理の食事バランスガイドを作成した。 平成20年度にこの全国版が「あなたのまちの食事バランスガイド」（DVD）として作成される（日本食生活協会）。 このDVDを活用しながら、「食事バランスガイド」が身近なものとして定着するように、料理教室、講座、講演会などで推進する。</p> <p>⑥ 「おやこの食育教室」の開催（食育で5つの力を身につける） 1. 食べ物を選ぶ力 2. 食べ物の味がわかる力 3. 料理ができる力 4. 食べ物のいのちを感じる力 5. 元気なからだがわかる力</p> <p>⑦ 「男性のための料理教室」の開催 働き盛りの男性へ、定年退職後の男性へ、先ず楽しく調理すること・食べることを通して、食生活改善に意識を持っていただく。</p>
<p>(福) 愛知県社会福祉協議会 保育愛知部会</p>	<p>① 各保育所において、給食を通じた食習慣指導や農業体験等を実施する予定である。</p> <p>② 愛知県社会福祉協議会 児童福祉事業連絡部会の実施する「施設長研修会」（保育所長研究会）の分科会で「食育文化につながる食育への取り組み」について、研究協議を行う予定である。</p> <p>③ 平成20年7月10・11日に福井県で開催される「第49回東海北陸保育研究大会」に代表を派遣し、分科会において食育をテーマに発表を行う予定である。</p>
<p>愛知県農業協同組合中央会</p>	<p>① 農協において、農業体験学習、市民農園、バケツ稲作の普及、学校給食への地元農産物活用の推進、農業理解のための教材提供、生産者と消費者等との交流会の実施、直売所の設置運営を行う。</p> <p>② 農協職員が、「愛知県食育推進ボランティア」として活動を行う。</p> <p>③ 県内JAにおいて「JA食農プラン」の策定・実践に向け取り組む。</p>

<p>愛知県農業経営士協会</p>	<p>① 「豊かな食と農の伝道者」(農業経営士や農村輝きネット・あいちのグループ員等)が、児童・生徒の農業体験における講師となり学校等と連携して、食や農の大切さを伝える活動をする。</p>
<p>農村輝きネット・あいち</p>	<p>② 「輝きネット・あいちの技人」(農村輝きネット・あいち認定)が郷土食の継承活動や地元農産物の加工に取り組む。</p> <p>【重点的な取組】</p> <p>③ 「輝きネット・あいちの技人」認定式 実施時期：8月から9月 場所：愛知県立農業大学校 対象：グループ員 内 容：郷土食や地元農産物の加工等、農村に伝わる技術や文化を地域の住民や子供たちへ継承することのできる人を「輝きネット・あいちの技人」に認定する。</p> <p>④ 農とくらしの研究発表大会2009 実施時期：1月 場所：愛知県立農業大学校 対象：グループ員 内 容：他グループの優れた活動状況を知ることにより、自分たちの活動を見直し、今後の活動を充実させる機会とする。</p>
<p>愛知県酪農農業協同組合</p>	<p>① 学校給食への牛乳供給の推進や牛乳・乳製品に関する情報提供を行う。</p> <p>② 牧場を教育の場として開放し、体験学習の実践の場とする「酪農教育ファーム」を実施する。</p> <p>③ 愛知県牛乳普及協会が、牛乳・乳製品利用料理コンクールを開催する。</p>
<p>愛知県漁業協同組合連合会</p>	<p>① 魚食普及のための情報提供を行う。</p> <p>② 料理講習会の開催や都市・漁村青年交流会を実施する。</p>
<p>愛知県食品産業協議会</p>	<p>昨年来、食品の事件事故が多発しており、食品の安全・安心確保は、社会的に重要な課題となっています。このため、本年度も会員を始め多くの食品事業者を対象に、法律、制度等をより一層理解させ再発防止と社会的責任の重大さを認識する目的のセミナーを開催する。</p> <p>【重点的な取組】</p> <p>食の安全・安心確保セミナー(予定) 実施時期：9月 場所：名古屋地域 対象：会員等 内 容：JAS法、食品衛生法、関連法の解説と食品企業の危機管理を理解する。</p>
<p>日本チェーンストア協会中部支部</p>	<p>① 「毎日朝ごはん」等テーマを決めた店頭での食育推進普及活動として、パネルやPOPを使った消費者へのアピールを実施する。</p> <p>② 経済連との共同による「親子による収穫体験」の実施や、食品メーカーや東邦ガス、中部電力とのコラボによる店頭でのクッキングワゴンや料理教室など、バランスの良い食事メニューを紹介する。</p> <p>③ ホームページを使った、バランスの良い食事メニューの紹介や旬の食材を使ったメニュー提案を実施する。</p>

<p>愛知消費者協会</p>	<p>① 消費者と生産者との交流や見学会を実施する。</p> <p>② 栄養改善普及会と連携し、食のゼミナールや学習会を開催し、普及活動を推進する。</p> <p>③ 機関紙発行（年4回）時に啓発につとめる。</p> <p>④ 各支部へ食関係のチラシ・パンフレット等を配布し、啓発につとめる。</p> <p>【重点的な取組】</p> <p>⑤ シンポジウム、学習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査、結果に基づく学習会 ・シンポジウム（11月） ・食のゼミナール（1月） <p>⑥ 子どもたちと料理教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料自給率を考える 地産地消食材とお米を使って、例えば五平餅、おはぎ等 ・食文化の伝承 地場産物で郷土色あふれる献立を取り入れる。 ・家庭へ 次世代の子どもたちに受継がれ、食育意識を高める。
<p>名古屋勤労市民生活協同組合</p>	<p>① 地元 JA との「親子の農業体験」として、田植え、かかしづくり、稲刈りの取組</p> <p>② 産地工場見学、出前学習会の実施</p> <p>③ たべる*たいせつキッズ（食育プログラム）の実施</p> <p>④ 親子クッキング、子どもたちの初めてクッキングの開催</p> <p>【重点的な取組】</p> <p>⑤ 食料自給率向上の取組</p> <p>食べものを大切にすること、農業を理解すること、より身近で獲れるものを購入して食べること、バランスのよい食生活、お米を食べることなどを、学びながら実践していけるように。</p> <p>⑥ 菜の花で車を走らせよう</p> <p>菜の花→菜種油→コープのお店で惣菜に使用→廃油→BDF→生協の配送車</p> <p>⑦ 飼料米の取組</p> <p>飼料稲ホールクロップサイレージとして畜産農家と提携、実験的に進める。</p>